

年 組 名前:

問1

甲府市で始まった実証実験は、だれが、だれに、何をするサービスですか。

・だれが

.....

・だれに

.....

・何をする

.....

.....

.....

問2

実証実験の対象エリアと配達可能距離を教えてください。

・対象エリア

.....

・配達可能距離

.....

問3

このサービスについて、良い点と問題になりそうな点を、考えてください。

・良い点 :

.....

.....

・問題点 :

.....

.....

買い物 地域住民が代行 甲府でアプリ実証実験



指定された商品を購入する配達員(右)＝甲府市内



買い物代行サービスの専用アプリ＝県庁

高齢者が専用アプリを通して配達員に買い物の代行を依頼するサービスの実証実験が、甲府市内で始まった。配送システムの提供などを手がけるエニキヤリ(東京)が実施。事前にアプリに登録した地域住民らが配達員として依頼に対応している。買い物に困難な高齢者が増え、需要があると見込んだ。
同社によると、利用者は専用アプリで店舗や購入したい商品名などを入力。配達を依頼するの表示をタップすると、周辺エリアにいる行動可能な配達員に一斉に通知が届く。依頼を受けた配達員が商品を購入して自宅まで届け、依頼者から商品の購入代金や配達料、手数料を受け取る。一部は配達員の報酬となる。実証実験の対象エリアは朝日通り商店街を中心とした半径2キロ圏内、配達可能距離は店舗から3キロ以内。エリア内であれば飲食店やコンビニ、家電量販店、ドラッグストアなど全ての店舗での買い物対象になる。地域住民に

指定された商品を購入する配達員(右)＝甲府市内

実証実験は2024年2月末まで。年内は配達料50円で依頼できるが、1月以降は手数料を商品代金の10%分とする。2月中は配達料を値上げし、利用率の変化やリピート回数、アプリのダウンロード数などを検証する。
県内の高齢化率は上昇傾向で、県の23年度高齢者福祉基礎調査(4月1日時点)では高齢化率が31.3%で過去最高を更新している。買い物代行の需要は高いと判断した。県の実証実験サポート事業

(2023年11月14日付 山梨日日新聞7面)

に採択されている。実験スタートの10日は県の担当者がアプリで買い物代行を依頼し、配達員がワインやおにぎりなどを県庁まで届けた。
同社の小崎秀信社長は「実証実験で課題を見つけさらにサービスを充実させる。県内の他のエリアにも展開し、いずれは山梨モデルとして全国に広げていきたい」と話した。